

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ガイドヘルパー講座Ⅱ Course of Study on Mobility Guide Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (ガイドヘルパーユニット)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ガイドヘルパー講座Ⅰ・Ⅲ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ガイドヘルパー講座Ⅰ・Ⅲ				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
久保 由佳		福祉棟2F	月・火・水・木・金 (授業時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要				
全身性障害および知的障害のある人の移動支援における基礎知識や介護上の留意点について理解する。そして、車椅子の利用を含めた、障害に応じた移動支援の技術を習得する。また、事例検討を通して、さまざまな場面における支援の実践について学び、支援のあり方について考える。				
授業の到達目標				
①全身性障害および知的障害のある人の移動支援に関する基礎知識を身につけることができるようにする。 ②障害に対する理解が深められるようにする。 ③ガイドヘルパーとしての役割を理解し、外出支援を行うことができるようにする。 ④障害のある人の社会参加促進に寄与できるようにする。				
授業の方法				
講義・演習・視聴覚教材の活用・グループワーク・事例検討・ロールプレイ等、多様な形態である。 全身性障害がある人の移動介護の演習では校内・校外での演習を行う。				
学習の成果				
①基本的な移動支援の知識・技術を身につけることができる。 ②全身性障害および知的障害に対する理解を深めることができる。 ③ガイドヘルパーとしての役割を理解し、全身性障害および知的障害のある人の外出支援を行うことができる。 ④障害のある人の社会参加促進に寄与できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の諸注意・欠席時の対応など） 全身性障害者の理解（ADLの障害を中心に）			
第2回目	車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習① （車いすの種類と機能、車いすでの姿勢保持、移動用リフトの使用方法）			
第3回目	車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習②（車いすへの移乗介助、移動支援時の留意点） *レポート①：移乗介助演習の振り返り			
第4回目	車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習③（車いすでの移動支援、車いす使用時の生活行為の介助） *レポート②：車いすでの移動支援演習の振り返り			
第5回目	行動援護の事例の検討に関する演習①（ADLの障害を中心とした行動援護利用者の理解）			
第6回目	行動援護の事例の検討に関する演習②（視聴覚教材による事例の理解）			

第7回目	行動援護の事例の検討に関する演習③（生活障害への関わり方・手段など） *レポート③：障害特性に関するレポート		
第8回目	行動援護の支援技術に関する演習①（知的障害児の事例による支援方法）		
第9回目	行動援護の支援技術に関する演習②（知的障害児の事例を用いたロールプレイ）		
第10回目	行動援護の事例分析に関する演習①（外出支援計画の作成方法と作成上の留意点）		
第11回目	行動援護の事例分析に関する演習②（事例をもとに外出支援計画の作成：グループワーク）		
第12回目	行動援護の事例分析に関する演習③（事例をもとに外出支援計画の作成：発表準備）		
第13回目	行動援護の事例分析の検討に関する演習①（発表）		
第14回目	行動援護の事例分析の検討に関する演習②（発表、講評）		
第15回目	授業のまとめ（筆記試験を含む）		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	以下の事柄で評価する。①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことをノートにとっている。③演習に積極的に取り組み、グループワークでは自分の考えを述べている。
	レポート	30%	課題のテーマに沿って学び・気づきが具体的に記述されていること、ガイドヘルプ時の援助の視点について考えられていることを基準に評価する。
	調査報告書		
	小テスト		
	中間・学期末試験	40%	全身性移動介護従業者および行動援護従業者としての学習内容を踏まえて出題する。記述形式を中心とした問題とする。
	発表内容（態度含む）	10%	外出支援ロールプレイ時、以下の視点で評価する。①利用者視点で事例を適切に捉えていること。②支援計画が具体的に考えられていること。③支援内容に工夫がみられること。④発表態度（声の大きさや言葉遣い）
	その他		
教科書と参考図書			
①ガイドヘルパー研修テキスト 全身性障害編 中央法規出版 ②新・事例で学ぶ知的障害者ガイドヘルパー入門 行動援護・移動支援のために 中央法規出版 その他、適宜資料を配布する。			
履修上の心得・ルール			
ガイドヘルパーユニットの必修科目である。 ガイドヘルパー講座Ⅰ～Ⅲの単位を取得し、必要な手続きをすると、「修了証明書」が発行される。 講義・演習ともに積極的に参加すること。また、グループワークでは積極的に意見交換をし、学びを共有すること。			